

南稲苑ビッグ

なんとうえん

—かわら版—

100号 平成30年12月

木こり通信

(有)南稲苑開発社

そばと山野草料理 木こり

山形県上山市高野字薄沢3

電話 023-679-2321

Fax 023-672-3723

発行責任者 小林 明美

8月21日(火) 晴

三漏水発覚! 「またか...」。水道工事業者に連絡し見せらう。

ここの商売を始める前の住まいは現店舗より東に100メートル程の所にあった。父(斎藤貢)が昭和40年倉り業、ニジマスの釣り堀から始まった。それから数年後、そば打ちを修得し、そばとニジマス料理店として営業。住まいまで来ていた水道を100メートル先までの店舗まで持って来たらしい。要するに、元住まいの所に検計メーターがあるので、そこからの三漏水の負担は個人持ちにはなると。平成20年頃から老朽化の為、数年おきに三漏水が始まった。この度水道管をすべて新しくすることになり、翌日の水曜日(定休日)に1日で工事をしてもらうことになった。あと30年は心西にたく過ごせるとのこと(管の品質が良くおているのでもっと長持ちするかも)。

盆晝の中ありがとございました。

く古い写真が見つかりました

釣り堀を始めた頃、この建屋は現在母屋にはっている。写真右側に数年後、今の店舗を建てている

牛前が池、7~8人のお客様が釣りを楽しむ様子



創業時は → 「小桜釣り堀」 県道12号沿いに看板、現在は「木こり」の看板、ヤのぼり旗が立っている



8月23日(木) 晴

毎日、毎日暑い日が続く。

畑に川の水をポンプで汲み上げ、すべての作物に水かけをする。ここずっと夕方の日課になっている。いつまで続くのか... 今日特別暑いと思ったらお隣、山形市の最高気温は39.0 だったと言う。

9月5日(水)

昨夜、台風21号が接近

強風で店舗東側がじじ川(向かい)にある大山桜の大木(全長17m位)が川に

右上へつづく

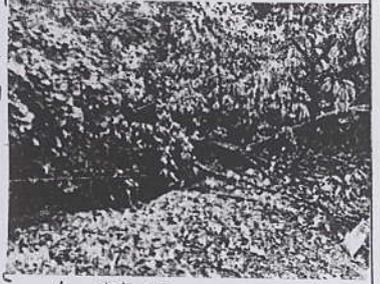
(左下へつづく)

橋がかかるように根元から倒れた。

お利にも高く近くではよく見えな、桜の花だったが、遠くから今年も花が咲いてくれたな〜と毎年楽しみにしていた桜だった。

チェーンの苗を新調して、クシやう枝の始末をする。

冬の薪ストーブのたき木に、七枝葉をいっしょに貢納してもらうことにしよう。 なつしめたかじが川



そういえば、1年前も台風で大木が(エンジュの木)倒れたが、こちら辺の土地は大きな石が多く深く根が張れないのかもしれない。だから大木になるほど強風で倒れやすいのだろうか?

10月7日(日) くもり

6日から3連休の中、^{ひかび}豊空ではあるが紅葉狩りのお客様が多い。今日は、夫・娘・兄夫婦に姪っ子と家族総出で手伝いしてもらい、外の作業(庭や畑)や店内の作業などしてもらう。夕方より畑で収穫した里芋を芋煮会をして慰労。芋煮はフワクとしたやわらかさで大変美味かった。皆、喜んでくれた。どうもどうもお疲れ様でした。

11月25日(日) 晴

父(前社長)の三回忌法要の為、臨時休業。長龍寺さんと法要していただき、その後、上山市内の彩花亭時代屋さんに父の思い出と語りながら会食。お開き後、伯父が陰膳の前で短歌を詠んでくれた。

「人々の病癒やさむと野をめぐり
薬草採りみし君の頼もし
山麓に木こり蕎麦を開業し
蕎麦打ち励む汝のいとほし」

父の姿が走馬灯のように思い出にエピソードがこぼれてしまった。 ありがとうございます。

12月2日(日) 晴

今朝は今年初めて水たりに薄い氷が張った。新そばの会準備の為、早めに出動したこともあったが、途中の温度計は、マイナス2度。辺り一面霜が降り、雪が降らなかつただけでも、今日はありがたくシロキ(和田たけのこ)の散歩を済ませ、そばの会の準備にかかった。今日のメニューは、山菜煮(コシヤク煮)、そばの卓雑炊、ユリ根だんごのそばの奥まじり、おみ漬、ヤコニサウダ、なつはせジュース、10唐いそば。参加者の皆さん、腹いっぱい召し上がり満足された様子でした。12月9日も開催。